

令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

教科	体験 I					科目	共通
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
各現象を体験することにより、経験者の育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	体験 I に関する課題を発見し、携わる者として、技術の進展に対応し解決する力を養う。	体験 I に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4 ガイダンス(前期) 各分野の体験	ガイダンス 各分野の体験	○	○	○	20
	5 コミュニケーション能力の育成 各分野の課題発見	生徒同士の話し合い 各分野の課題の発見	○	○	○	
	6 解決方法の模索① 解決方法の模索②	生徒同士絵の解決方法の話し合い	○	○	○	
	7 解決方法の決定	解決方法の決定	○	○	○	
2 学期	9 まとめ①	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	35
	10 ガイダンス(後期) 各分野の体験	ガイダンス 各分野の体験	○	○	○	
	11 コミュニケーション能力の育成 各分野の課題発見	生徒同士の話し合い 各分野の課題の発見	○	○	○	
	12 解決方法の模索① 解決方法の模索②	生徒同士絵の解決方法の話し合い	○	○	○	
3 学期	1 解決方法の決定	解決方法の決定	○	○	○	15
	2 まとめ①	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	
	3 まとめ②	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	
年間予定授業時間数						70

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

教科	体験 I					科目	自動車
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	自作テキスト

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
高専連携授業の一環として、自動車に関する様々な知識を習得して、自動車への興味関心を持つように様々な体験や見学を通して自動車を理解する。	自動車に関する課題を発見し、工業に携わる者として、自動車に関する育成技術の進展に対応し解決する力を養う。	自動車に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び体験し、様々が学校や企業に見学して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学 期	4 ガイダンス(前期) 自動車について知る ハーレーダビットソンを知る	本校自動車工場にて学ぶ 東京工科自動車専門学校 品川校	○	○	○	20
	5 F1レーシングカーについて知る	東京工科自動車専門学校 中野校	○	○	○	
	6 自動車の発達とあらまし 自動車の構造と整備について	①自動車の歴史 ②自動車の種類	○	○	○	
	7 自動車の構造と整備について	①自動車の構造としくみ ②自動車の整備について	○	○	○	
2 学 期	9 自動車と環境保全について	②自動車の整備について ②環境保全の取り組み	○	○	○	35
	10 ガイダンス(後期) 自動車について知る ハーレーダビットソンを知る	本校自動車工場にて学ぶ 東京工科自動車専門学校 品川校	○	○	○	
	11 F1レーシングカーについて知る	東京工科自動車専門学校 中野校	○	○	○	
	12 自動車の発達とあらまし 自動車の構造と整備について	①自動車の歴史 ②自動車の種類	○	○	○	
3 学 期	1 自動車の構造と整備について	①自動車の構造としくみ ②自動車の整備について	○	○	○	15
	2 自動車と環境保全について	②自動車の整備について ②環境保全の取り組み	○	○	○	
	3					
年間予定授業時間数						70

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	高専連携授業であるため、専門学校や企業へ訪問し実習を行う。

令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

教科	体験 I					科目	園芸
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
園芸(農業)を体験することにより、園芸経験者の育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	園芸や農業に関する課題を発見し、園芸や農業に携わる者として、園芸・農作物の育成技術の進展に対応し解決する力を養う。	園芸・農業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、園芸・農業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学 期	4 ガイダンス(前期) 野菜作り	ガイダンス トマト、ナス、キュウリの植え付け	○	○	○	20
	5 土づくり 野菜作り	土づくり、追肥 枝豆、オクラ、トウモロコシの植え付け	○	○	○	
	6 野菜作り 土づくり	たまねぎ収穫、さつま芋の定植 土づくり、追肥	○	○	○	
	7 野菜作り 野菜作り 園芸	えんどう豆 収穫 ジャガイモ掘り 花の植え付け	○	○	○	
2 学 期	9 畑の整備 畑の整備 ガイダンス(後期)	夏野菜の片づけ 草むしり、間引き ガイダンス	○	○	○	35
	10 畑の整備 野菜作り	草むしり、間引き 大根の種まき	○	○	○	
	11 野菜作り 園芸 野菜作り	さつま芋掘り、芋の収穫 花の種まき(園芸) 玉ねぎの植え付け	○	○	○	
	12 野菜作り	大根の収穫 インゲン、ソラマメの植え付け	○	○	○	
3 学 期	1 畑の整備	落ち葉拾い・堆肥づくり	○	○	○	15
	2 野菜作り 土づくり	ジャガイモの定植 土づくり、追肥	○	○	○	
	3	まとめ2	○	○	○	
年間予定授業時間数						70

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

教科	体験 I					科目	スポーツリーダー・コーチ体験
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
スポーツリーダーやコーチングを体験することにより、リーダーの育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	スポーツリーダーやコーチングに関する課題を発見し、スポーツに携わる者として科学的な根拠に基づきスポーツ指導者技術の進展に対応し解決する力を養う。	スポーツリーダー・コーチ技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、体育の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	4 ガイダンス(前期) バドミントン	スポーツを指導する上でのルールや指導法の確認 バドミントンの基礎技術・指導法	○	○	○	20	
	5 バスケットボール	バスケットボールの基礎技術・指導法	○	○	○		
	6 サッカー	サッカーの基礎技術・指導法					
	7 バレーボール	バレーボールの基礎技術・指導法	○	○	○		
2 学期	9 フットサル ガイダンス(後期)	フットサルの基礎技術・指導法 スポーツ実施する上でのルールや指導法の確認	○	○	○	35	
	10 バドミントン	バドミントンの基礎技術・指導法	○	○	○		
	11 バスケットボール	バスケットボールの基礎技術・指導法	○	○	○		
	12 サッカー	サッカーの基礎技術・指導法	○	○	○		
3 学期	1 フットサル	フットサルの基礎技術・指導法	○	○	○	15	
	2						
	3	※ 上記の6項目をローテーションして実習形式の授業を行う					
						年間予定授業時間数	70

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

教科	体験 I					科目	洋菓子製作
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
製菓実習を体験することにより、製菓製作能力の育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	製菓製作や飲食業界に関する課題を発見し、洋菓子製作に携わる者として、洋菓子製作の育成技術の進展に対応し解決する力を養う。	飲食業界に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、洋菓子製作の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	オリエンテーション(前期) 製菓実習	○	○	○	20
	5	製菓実習	○	○	○	
		製菓実習	○	○	○	
		製菓実習	○	○	○	
6	製菓実習	○	○	○		
	製菓実習	○	○	○		
	製菓実習	○	○	○		
7	製菓実習	○	○	○		
	製菓実習	○	○	○		
	製菓実習	○	○	○		
2 学期	9	製菓実習	○	○	○	35
		製菓実習	○	○	○	
	オリエンテーション(後期)	○	○	○		
	10	製菓実習	○	○	○	
		製菓実習	○	○	○	
		製菓実習	○	○	○	
11	製菓実習	○	○	○		
	製菓実習	○	○	○		
12	製菓実習	○	○	○		
	製菓実習	○	○	○		
	製菓実習	○	○	○		
3 学期	1	製菓実習	○	○	○	15
		製菓実習	○	○	○	
	2	製菓実習	○	○	○	
製菓実習		○	○	○		
3						

年間予定授業時間数

70

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	